

平成 27 年 11 月 18 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 横山 幸弘
(TEL 03 - 6225 - 2207)

GL 社業績発表に伴う報道

当社の重要な子会社であります SET(タイ証券取引所)上場のファイナンス会社 Group Lease Public Company Limited(以下、「GL 社」といいます。)は 2015 年 11 月 10 日付で第3四半期決算を発表し、カンボジア事業の成長、タイ事業の利益率回復、ラオス事業の利益化などを後押しに、四半期として過去最高利益を報告いたしました。これに伴いタイ国内においては主要な全国紙、証券新聞、WEB サイトなどにおいて数多くの報道がなされるとともに、証券アナリストによるリサーチが更新されました。

タイ国のファイナンスセクターにおける海外展開のイノベーターとして驚きを持って受け入れられる論調が多く、将来性を期待する報道が多数なされました。これら報道の一部を日本語訳し、皆様にお届け申し上げます。

特にタイ証券取引所主要インデックスである「SET100*」に選ばれるとの観測がなされていることは、親会社であります当社といたしましても名誉であると考えております。また実際に選ばれるとすれば、多くのタイ国内外のインデックスファンド、ETF などに必然的に購入されることになり、同株式の価格が上昇する強い要因となると予測されます。当社はこのたび GL 社の株式追加取得に向けての大型増資を発表いたしておりますが、新株予約権行使による GL 社株式取得価格は 10 パーツであり、これに比して 11 月 16 日取引終値は 18.4 パーツと、取得価格より 80%以上高い価格となっておりますが、「SET100*」に選ばれることとなれば、この株式の市場価格をさらに上昇させる要因となりますので、歓迎しております。

*SET100 は、SET が半期に一度発表する上場企業上位 100 銘柄を指します。SET100 に選出される銘柄は、過去 3 か月間の時価総額が上位 200 位以内であることのほか、流動性、取引高などが評価対象とされ、翌 6 か月間有効となります。

1. 第3四半期も1億5000万バーツ以上の最高益を更新

出典：カーウフン紙 (11月11日付)

- グループ・リースが発表した2015年第3四半期利益は前年同期比3,124%増の1億5000万バーツで、最高益を更新した。カンボジアの割賦販売事業が堅強に成長したことが支援材料。経営者は、第4四半期の利益がさらに成長すると確信している。

2. カンボジア・ラオス事業が追い風となり、2015年第4四半期業績も好調が続く

出典：ロイター (11月10日付)

- 特にカンボジアとラオスの事業の成長が著しい。ラオス事業はこの第4四半期から利益を出し始めると見られる。
- インドネシアへの進出については、2016年年初から創業できる見通し。将来の売上・利益が期待される。
- 2015年第3四半期純利益は1億5027万バーツと最高益を更新。内訳は、タイ国内事業の利益が7000万バーツ、カンボジア・ラオスを主とする海外事業の利益が8000万バーツで、海外事業利益が国内事業利益を初めて超過した。
- カンボジア事業は、今後長期に渡る成長が期待される。経済の成長が続いているほか、安定した収入があり、購買力を持つ中所得者層が増加しているからである。最近GLは中小企業を対象にした融資に事業を拡大した。
- カンボジアにおけるGLの貸付ポートフォリオは、現在約8000万ドルである。大半が質の良い貸付で、不良債権(NPL)率は0.4%とかなり低い。
- GLの子会社であるGL FINANCE(GLF)は、オートバイ割賦販売の貸付を1ヶ月あたり約2000台行っているが、年末には約3000台に増加する見通しである。さらに来年には3000-5000台に増加すると見られている。
- タイ国内事業は、現在の貸付ポートフォリオが約50億バーツで、NPL率は6.5%。年末には5%に低下する見込み。

3. SET100に選出される見通し

出典：ポストトゥデイ紙 (11月11日付)

- TISCO証券会社のアナリストが11月6日までのデータをまとめ、SET50およびSET100の進退を予測した。SET50とSET100はタイ証券取引所が11月末に発表するもので、2016年1月1日から6月30日まで効力を持つ。SET100に入ると予測される20銘柄を示す。

バンコク・ライフ・アシュランス(BLA)、サイアム・シティーセメント(SCCC)、TIPCOアスファルト(TASCO)、スーパー・ブロック(SUPER)、PTG エネルギー(PTG)、イースタン・ポリマーグループ(EPG)、ジュラーラット病院(CHG)、ワンチャイ・グループ(VNG)、タイ・ベジタブルオイル(TVO)、プランBメディア(PLANB)、インター・ファーイースト・エネルギー(IFEC)、**グループ・リース(GL)**、エッソ・タイランド(ESSO)、バンコク・チェーン・ホスピタル(BCH)、ワークポイント・エンターテイメント(WORK)、ムアンタイ・リーシング(MTLS)、グローバル・パワー・シナジー(GPSC)、メガ・ライフサイエンス(MEGA)、シータラン・アグロインダストリー(STA)、ザ・プラティナムグループ(PLAT)。

- ノムラ・パッタナーシン証券会社が予測する SET100 入り 14 社は以下の通り。

TASCO、SUPER、MTLS、GPSC、PTG、EPG、CHG、VNG、PLANB、IFEC、GL、WORK、サーマー・テレコム(SAMTEL)、スキャン・インター(SCN)。

4. 予想値を上方修正

出典：Trinity Securities アナリストレポート (11月11日付)

- **2015年第3四半期利益は最高益を更新**

GLが発表した2015年第3四半期純利益は、我々の予測に近い1億5000万バーツだった。前四半期比16%増、前年同期比では3.8倍増である。3四半期連続で最高益を更新している。SET100に入ると予測される20銘柄を示す。

- 現在カンボジアの事業は成長を続けており、取引のある中小企業向けの貸付事業を計画している。オートバイディーラー向けの貸付フロアプランなどである。
- 現在インドネシアではJ-Trustやローカル企業と共同出資の会社設立手続きをしており、来年始動する予定。事業は、大手ライバル会社との競争を避けるために地方部で行う新車オートバイ割賦販売のほか、中古オートバイ割賦販売、オートバイを担保とする貸付である。
- 現在ローカル企業と交渉中で、価格で合意できればM&Aが起こる可能性がある。
- **予測値を上方修正:**海外事業の成長と、NPLが縮小傾向にあることから、我々の2015-2016年予測利益を約4%上方修正し、2015年は5億6200万バーツ、2016年は8億1900万バーツとする。

今後のGLの躍進に、ご期待ください。

以上